

わたしたちの  
人権

75

だれもが人間として生きていくうえで  
優すことのできない当然の権利  
これが「人権」です



## 放射能差別問題

東京電力福島原子力発電所の事故に伴う、放射能差別に関する相談が、避難者から福島県災害対策本部の「放射線に関する相談窓口」などに、寄せられています。

### 相談事例

- 福島県民であることを理由に、レストランで入店を断られた。
- ホテルで宿泊を拒否された。
- 福島ナンバーの車を他県のパーキングエリアに駐車した際、「福島県民は来るな」と言われた。
- ガソリンスタンドで、「車のタイヤやボディについている放射性物質がうつる」と言われ、給油拒否を受けた。
- 「避難者と同じ風呂に入りたくない」という理由で、旅館で宿泊をキャンセルする一般客がいた。
- 他県の病院で診察を受けようとしたところ、医師から「福島の人だめ」と言われ、診察を断られた。

○福島から他県に避難してきた子どもが、地元の子どもに「放射能がうつる」と言われ、避けられた。

放射能が健康などに及ぼす影響は確かに怖いものがありますが、事実に基づかない差別や誹謗中傷が、先の見えない避難生活を強いられている人々を苦しめています。また、大人の無知が子どもの世界にも伝わり、心無い言動で仲間外れになり、悲しい思いをしている子どもを生んでいます。

放射能差別は、正確な知識の欠如から起きており、まさに部落差別や水俣病問題、元ハンセン病患者への宿泊拒否問題の原因と重なります。

独立行政法人放射線医学総合研究所によると、「他者に影響を及ぼすほど放射線に汚染されている人はおらず、人から放射能がうつることはありません。原発内で作業した車両も、必要があれば除染して外に出ており、車から放射能がうつることはありません」とのこと。

被災者に対する支援の一つとして、募金やボランティア活動などと並び、正しい情報を共有して放射能差別をなくすことも大切なことではないでしょうか。

## 人権擁護委員制度をご存じですか？

6月1日は、人権擁護委員法が施行された日です。

全国人権擁護委員連合会では、6月1日を「人権擁護委員の日」と定め、この日を中心として皆さんと共に一層の人権尊重思想の啓発に勤めることを申し合わせています。

山都町においても、特設人権相談会場が次のとおり開かれ、法務大臣から委嘱された人権擁護委員が相談を伺います。相談は無料で秘密は堅く守られますので、お気軽にご相談ください。

日時：6月1日（水）

午前10時～午後3時

### ◎矢部会場

（山都町中央公民館）

人権擁護委員：中村コノエさん、山本幹江さん、赤星光洋さん、片山節子さん

### ◎清和会場（清和総合支所）

人権擁護委員：緒方郁生さん、黒木博子さん

### ◎蘇陽会場（蘇陽総合支所）

人権擁護委員：菅原健二さん、町義弘さん

## サインを出そう！

今 勇気をもって

子どもの人権110番へ

### ●児童・生徒のみなさんへ

学校で友達から「いじめ」を受けて学校に行きたくない、でも先生や親には言えない・・・、誰に相談していいかわからない・・・。もし、そんな悩みを抱えていたら、一人で悩まずに、お電話ください。法務局・地方法務局の職員、または人権擁護委員（子どもの人権専門委員）が、お話を聞いて、どうしたらいいか一緒に考えたいと思います。相談は無料、相談内容の秘密は守ります。

### ●保護者の方へ

「いじめ」や体罰、不登校や親による虐待といった、子どもをめぐる人権問題は周囲の目につきにくいところで生じていることが多く、また被害者である子ども自身も、その被害を外部に訴えるだけの力が未成熟であったり、身近に適切に相談できる大人がいなかったりする場合が少なくありません。「子どもの人権110番」はこのような子どもが発する信号をいち早くキャッチし、その解決に導くための相談を受け付ける専用電話相談窓口です。相談は、全国の法務局・地方法務局において、人権擁護事務担当職員及び人権擁護委員（子どもの人権専門委員）がお受けします。相談は無料、相談内容の秘密は守ります。

●電話番号 0120-007-110（全国フリーダイヤル・無料）  
●受付時間  
平日午前8時30分～午後5時15分

## 季節のうた

### ▼馬見原酔山会

啼き声にかあと返して芹を摘む  
懸崖の吊橋揺れて風光る

工藤美智子  
渡辺勝子

### ▼やまなみの会

春暁の猫に餌やるちゃんちゃんこ  
走ること忘れて久し青き踏む  
若布茹つ大釜の湯の煮えたちぬ  
虚ろなる幹の老梅花つけし

赤澤扶光子  
原田和子  
佐野清江

### ▼通潤句会

大地より芽ぶきしばかりの水仙の日に日に日に伸びて  
緑のアピール  
荒木由紀子

古閑比奈子  
飯星セチ子  
荒木由紀子

### ▼清和短歌会

明日の雨頼みて瓜の苗植うる  
千枚田天より地へと水張らる

田中かつみ  
菊池成河

### ▼音かも

ポツリポツリと蛇口をもるる水の音あれは命を刻む  
大津波に乗りて旅せし人あまた波は帰れど  
人は帰らず

大塚業司  
原田恵美  
渡辺辰男

## 6月の当番医

- 6月5日 瀬戸病院（電話75-0111）
- 6月12日 蘇陽病院（電話83-1122）
- 6月19日 高田整形外科（電話72-1007）
- 6月26日 坂本クリニック（電話72-0210）

## 山都町の人口

（平成23年4月30日現在）

男	8,672人（-9）
女	9,278人（-21）
計	17,950人（-30）
世帯	6,751戸（-1）

※（ ）は前月比

※最高齢は105歳〔女性1人〕

※1月1日～4月30日の出生届数  
37人（うち4月は7人）

※1月1日～4月30日の死亡届数  
100人（うち4月は27人）

## がんばろう日本！熊本から元気を届けよう！ 「東日本大震災復興支援チャリティーバザール」を開催します

熊本県では、関係機関と連携し、「がんばろう日本！熊本から元気を届けよう！」を合言葉に、「東日本大震災復興支援チャリティーバザール」を開催します。

日時 6月4日（土）・5日（日）10時～17時（予定）

会場 グランメッセ熊本

出展 約200団体

概要 県産品の販売、被災地域の物産・特産品販売、県出身著名人等のチャリティーオークション、くまモン募金等

■お問い合わせ 熊本県くまもとブランド推進課 TEL 096-333-2133

がんばろう  
日本！



## 書道

雨過春城花氣細風清  
亭館樂聲幽

和光教室書道部の大塚憲一さん（米生）作

## 編集後記

美しいまちづくり推進員の現地研修に同行し、小峰クリーンセンターに伺いました。昨年ここで、中身の残った農業容器や、ガスが残ったままのスプレー缶が持ち込まれ、爆発などでセンター職員が巻き込まれる事故が発生しています。リサイクルの推進とともに、安全な作業のためにも、ゴミ分別の徹底をお願いします。ゴミは混ぜると危険、分けると資源。

6月は、環境月間です。